

## 株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の平成28年熊本地震に被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

ここに第116期（自 2015年4月1日至 2016年3月31日）の報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当社は、2015年10月に発表いたしました経営方針の中で、当社が目指すビジネスモデルとして「つながるサービス」を掲げています。これは、サービス、ソフトウェアとソフトウェア化されたコアハードにより、お客様に、より統合されたワンストップサービスを提供することを目指すものです。

あわせて、中長期の方向性として、①「つながるサービス」にフォーカスしたビジネス構造に変えていくこと、②ICTがもたらすデジタル・イノベーションの可能性を追求していくこと、③これらをグローバルに実行することの3つを掲げました。これらの3つのシナジーによるビジネス

モデルへの変革を実現できたときに、「すべてがつながる」サービスによる市場への浸透を果たし、当社の課題である事業収益力を向上させることができると考えております。

これらの取り組みは途半ばにあるため、当期の業績は前期に比べ減益となりましたが、一定の利益水準は確保しています。そのため、当期の期末配当につきましては、連結の自己資本比率を充実させつつ、配当を継続することを考慮し、1株当たり4円とさせていただきます。

なお、当期の業績の詳細につきましては、当報告書の4ページをご覧ください。

今後は、できるだけ早期にビジネスモデル変革の進捗や目指す姿に向けた成果をお示したいと思っております。株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

代表取締役会長 山本正巳

代表取締役社長 田中達也



代表取締役会長  
山本正巳



代表取締役社長  
田中達也